

社会資本総合整備計画

小田原市宅地耐震化推進事業(二次調査)(防災・安全)
事後評価

おだわらし
小田原市

平成31年3月27日

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	小田原市宅地耐震化推進事業（二次調査）（防災・安全）			重点配分対象の該当	○								
計画の期間	平成30年度～平成30年度（1年間）												
交付対象	小田原市												
計画の目標	小田原市では、平成28年度までに大規模盛土造成地の変動予想調査（第一次スクリーニング）を完了し、調査結果を基に大規模盛土造成地マップを公表した。 平成29年度は、第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地について、第二次スクリーニング計画を作成し、優先的に第二次スクリーニングを行う必要がある箇所を抽出した。 そこで、抽出された大規模盛土造成地について、速やかに第二次スクリーニングを行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	14	A	14	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H30中頃)	最終目標値 (H30末)
1	第二次スクリーニング計画において優先的に第二次スクリーニングを行う必要があると抽出した大規模盛土造成地（2箇所）について、第二次スクリーニングを実施する。 第二次スクリーニング計画において優先的に第二次スクリーニングを行う必要があると抽出した大規模盛土造成地の箇所数に対する第二次スクリーニングの実施箇所数	0箇所	0箇所	2箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	小田原市	直接	小田原市	-	-	宅地耐震化推進事業	第二次スクリーニング (2箇所)	小田原市	■					14		-	
												小計						14		
												合計						14		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>「小田原市社会資本総合整備計画に関する評価実施要領」に基づき、事後評価を実施した。</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>平成30年度</p> <p>公表の方法</p> <p>市ホームページにて掲載</p>
---	--

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>第二次スクリーニング計画において優先的に第二次スクリーニングを行う必要があると抽出した大規模盛土造成地（2箇所）について、地盤調査や安定性評価等の第二次スクリーニングを実施したことにより、当該地の安全性を確認することができた。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	

○特記事項（今後の方針等）

<p>第二次スクリーニングの結果により、本市の大規模盛土造成地には、危険な箇所が存在しないことを確認した。</p>

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	2箇所
	最終実績値	2箇所

(参考図面)

